

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

| | | | |
|------|--------|----|----|
| 所属 | 社会学部 | 社会 | 学科 |
| 担当科目 | 社会学演習Ⅱ | | |

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

■仕事内容

仕事内容は、授業への参加とともに、授業で使用するテキストのコピー、聴講生への資料送信などの対応が主でした。今回の3年ゼミは、所定のテキストがなく、毎回使用する本が変わり、読む量も多いため、授業のある3週間ほど前までには、印刷を終えられるようにしていました。

■気づいたこと

私たちのゼミの時とは違い毎回テキストが変わる形式でしたが、3年ゼミ生も授業の際にはレジュメをしっかりと準備し、発表に望んでいました。授業中も真剣に考えられていたように思います。

ただ、授業中の自発的な質問が少なく、あてられて初めて発言するというような雰囲気、少し気になりました。また、授業開始前には机の配置を変えなければなりません、集まってくるのが遅く、授業が始まって人もおらず机の配置もそのままという状態が数回あったのも気になりました。

■感想

今回、自分自身が興味もあり、勉強している分野のチューターを行うことができ、勉強になり大変良かったと思います。3年ゼミで使用したテキストが、自分の卒論の関係で読んでおいた方がよいテキストということも中にはありました。レジュメも参考になりました。

チューターの業務という観点では、そこまで自発的に行えなかったことが心残りな点です。授業中の質問を活発にしたり、何かアドバイスができたというように、自ら行うことができませんでした。数回、聴講生へのメール送信忘れなどがあったのも反省点です。印刷は毎回定期的に行うことができたのは良かったと思います。

<今後のチューターまたは先生への提案>

提案というのはおこがましいのですが、チューターの授業中の役割が明確にはなっておらず、どこまで発言したりすべきかが分からないというようなことがありました。もし、3年生の議論が活発に行われるように、チューターとして何か役に立つことができるのなら、積極的に行っていきたいと思います。自ら考えるのと同時に、先生とも話してみてもいいのではないかと思います。